



(報道発表資料)

2024年6月19日

宇城市
イオンモール株式会社
西日本電信電話株式会社熊本支店

県内初 JR 小川駅とイオンモール宇城間で自動運転実験

宇城市、イオンモール株式会社（以下、イオンモール）、西日本電信電話株式会社熊本支店（以下、NTT 西日本）の3者は、自動運転社会実装推進事業コンソーシアムを組成し、JR 小川駅とイオンモール宇城間で県内初の「宇城市自動運転実装推進事業」を3者協働で行い、地域課題の解決に取り組みます。

国土交通省「令和6年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）」を活用した実装実験で県内初の採択となります。

1.背景・目的

全国的な人口減少や深刻な運転士不足により、地域公共交通の維持が困難となっている一方で、高齢化と免許返納後の移動手段の確保に対する住民ニーズは依然として大きいものがあります。宇城市においても住民生活において、利便性の高い公共移動手段は必要不可欠ですが、人口減少やそれに伴う深刻な運転士不足により、地域公共交通の維持が困難な状況となっているのが現状です。

そのような中、同市のJR小川駅からイオンモール宇城周辺は、同市の都市計画マスタープラン・立地適正化計画において地域拠点・地域交流ゾーンに位置付けられています。また、同区間の既存のコミュニティバスについては、年間48,000人に利用されています。駅周辺の立地環境を活かし、域内交流によるにぎわいの創出及び活性化を図るとともに、持続可能な地域社会の実現に向け、自動運転EVバスの導入・運行の実装実験を実施します。

2.実装内容

- | | |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 実施時期 | 2024年12月頃（1週間を予定） |
| (2) 実施場所 | JR小川駅～イオンモール宇城 |
| (3) 使用車両 | EVO（エヴォ） <ul style="list-style-type: none">・定員12名※実装実験時10名（乗客9名 + オペレータ1名）・最高速度 20km/h未滿 |

※1回の充電で9時間（約100km）自動走行可

(4) 事業費 35,000 千円（採択額）

(5) 運行ルート（予定）



(6) 役割分担

①宇城市（団体代表）

- ・自動運転事業の運営主体
- ・走行ルート、停車/駐車/充電エリアの提供
- ・利用者向けのプロモーションの実施 等

②イオンモール

- ・充電設備設置、駐車スペースの提供候補地としての対応
- ・バス運営に関するアドバイス 等

③NTT 西日本

- ・プロジェクトマネジメント
- ・全体要件・構成検討
- ・フィールド検証企画・調整 等

※協力企業

NTT ビジネスソリューションズ株式会社, 株式会社マクニカ

3.今後の展開について

実装実験を通じて課題解決を図り、宇城市の地域住民および周辺地域、観光客の皆さまが安心して利用できる安全で快適な自動運転サービスの実現をめざします。

*ニュースリリースに記載されている情報は、発表時点のものです。現時点では、発表日時点で情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。